

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

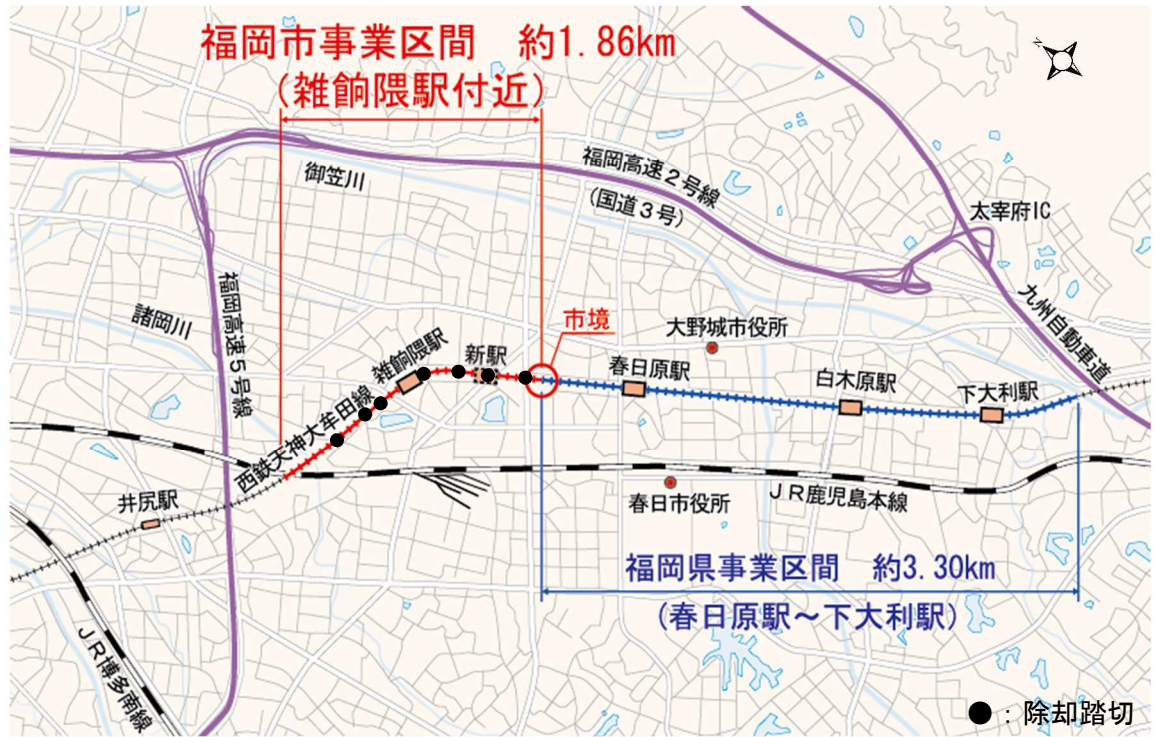
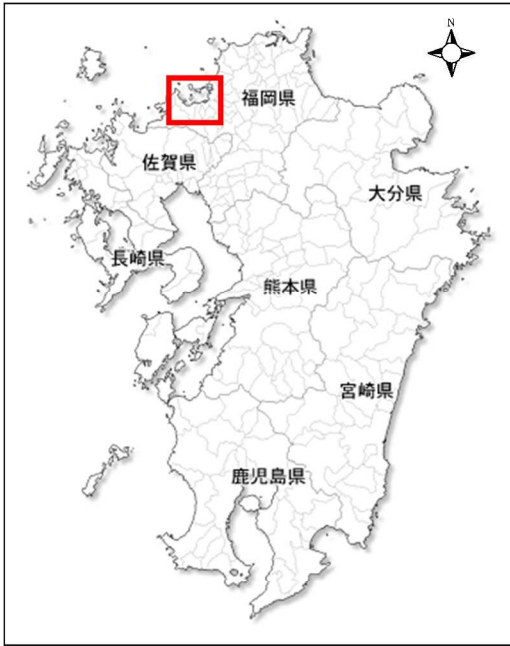
担当課：都市局 街路交通施設課
担当課長名：服部 卓也

事業名 連続立体交差事業 <small>にしにっぽんてつどうてんじんおおむた</small> 西日本鉄道天神大牟田線（雑餉隈駅付近）	事業区分	連続立体交差	事業主体	福岡市
起終点		自：福岡県福岡市博多区南八幡町		至：福岡県福岡市博多区西春町
延長		1.9km		
事業概要 本事業は、西日本鉄道天神大牟田線の福岡市南部の地域拠点に位置づけられている雑餉隈地区の約1.9kmにおいて、鉄道を高架化することにより7箇所の踏切を除却し、踏切による交通渋滞の解消等交通の円滑化を図るとともに、線路で分断された市街地の一体化による沿線地域の良好な住環境の形成を図る事業である。				
H22年度事業化		H19年度都市計画決定 （H26年度変更）		H22年度用地着手
				H23年度工事着手
全体事業費		約456億円		事業進捗率
				約85%
計画交通量		283,905台時/日（踏切交通遮断量）		
費用対効果		総費用		総便益
B/C （事業全体） 1.04		（残事業）/（事業全体） - /417億円		（残事業）/（事業全体） - /434億円
（残事業） —		事業費： - / 417億円 維持管理費： - /0.22億円		移動時間短縮便益： - /371億円 走行経費減少便益： - / 14億円 交通事故減少便益： - / 49億円
				基準年 令和4年
感度分析の結果 （事業全体）交通量：B/C=0.95~1.1（交通量±10%） 事業費：B/C=1.03~1.1（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.03~1.1（事業期間±20%）				
事業の効果等				
①地域住民の利便性・安全性の向上 ・除却される踏切において、渋滞や事故、踏切待ちが解消する。 ・駅利用者の上下移動が減少し、利便性・快適性が向上する。				
②地域防災の支援 ・地震等による長時間の踏切遮断を回避でき、第2次緊急輸送道路の機能強化が図られる。				
③生活環境の改善 ・踏切渋滞の解消により、CO2やNOXの排出量が削減される。 ・列車走行の騒音・振動が軽減され、踏切の警報音が解消される。				
④良好な市街地の形成 ・線路により分断された市街地が一体化する。				
関係する地方公共団体等の意見 特になし。				
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。				
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 周辺環境等に特に変化はない。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率100%、事業進捗率約85% 令和4年8月に隣接して福岡県が実施している西鉄天神大牟田線（春日原駅～下大利駅間）の連続立体交差事業区間との同時高架切替が完了。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 令和7年度の事業完了に向けて進める。				
施設の構造や工法の変更等 残工事は僅かであるが、今後もコスト縮減に努める。				
対応方針		事業継続		

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。